

2021 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	池田 晶
研究テーマ	近世寺社と祭礼史の研究
研究概要	令和 3 年度の研究テーマは「近世日吉社神事能の基礎的研究」とする。具体的には、近世日吉社神事能における舞台設営の実態や神事能の警固役の問題について研究し、日吉社神事能の歴史的意義を明らかにする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本研究では、「近世日吉社神事能の基礎的研究」と題し、近世の日吉社神事能における舞台設営の実態や神事能の警固役の問題について研究を進めてきたが、本年度は、近世の日吉社神事能に参勤した能役者について、従来知られてこなかった日吉社家生源寺家文書の私用日記から、明和 5 年（1768）～安政 4 年（1857）までの能番組を抽出し、能番組と能役者の実態について明らかにした。</p> <p>また、神事能に関連して、近世には延暦寺末であった吉野山の金峯山寺の神事能の調査を併行して進めていたところ、吉野山の東南院所蔵の『役用日記』（文政 13 年・弘化 4 年）から新出の能番組を確認し、これを基礎資料として、吉野山に参勤した能役者の実態について検討した。なお、これに関連して、近世の吉野山神事能の能舞台について、近世の絵図や地誌類、近代の絵葉書などを基礎資料として、近世吉野山の能舞台の設営場所や構造について検証した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>単「近世吉野山の神事能—能番組と能役者を中心に—」『修験道』宗報第 103 号、pp. 35-39、金峯山修験本宗宗務庁（令和 3 年 9 月、査読無）</p> <p>単「近世吉野山神事能の能舞台」『修験道』宗報第 104 号、pp. 11-19、金峯山修験本宗宗務庁（令和 4 年 1 月、査読無）</p> <p>単「近世中後期の日吉社神事能番組」『近畿民俗』第 188 号、pp. 75-99、近畿民俗学会（令和 4 年 3 月、査読有）</p> <p>単「金峯山寺の大絵馬に描かれた近世初頭の風俗」電子出版『奈良、旅もくらしも』（令和 4 年 3 月、査読無）</p>
3. 今後の課題	<p>現在まで日吉社神事能及び吉野山神事能の能役者や能舞台について研究をすすめてきたが、神事能の執行体制など、未だ解明されていないことが山積している。来年度以降は、上記のことを踏まえて、調査研究を深化させたい。</p>